

実は新潟が発信地！ VERY世代のママ

3人のこだわりインテリアライフを拝見

アートギャッベの魅力を探るべく、ブームの発信地新潟へ

小林邸の アートギャッベライフ

色合いにひと目惚れし購入。今ではすっかり肌触りの虜に

アートギャッベが家に来て、約1カ月という小林さん。「インテリアショップ ポー・デコールさんにはよく行っていたのですが、それまでアートギャッベが目に入ることはなかったんです。でもこれを見た瞬間、ひと目惚れをしました」。パッチワークのようにさまざまな色が織り込まれたアートギャッベ。天然の染料で染めた深い色は、光によって見え方を変え、もともとあった家具や杉材の床の色にもすんなり馴染んでいます。「届いた日は、子供がここに布団を持ってきて朝まで寝ていました。それほど温かくて気持ちいいんですよね。夏はさらっとしていると聞き、今から楽しみに」。色だけでなく、心地良さにもすっかり惚れ込んでしまった様子です。



(右)天然素材からの染料を使用しているので、これだけの色を組み合わせていても、決して派手にならず落ち着いた印象に。「赤と緑が好き」と言う小林さん宅にぴったり。(上)ご主人が購入した北欧のヴィンテージチェアの下にもギャッベを敷き、読書コーナーに



(上)「全体に敷くと重くなるので、細かいものを選び、部分的に敷いてみました」。アートギャッベは和室にもしっくり馴染みます。(右)「ショップではブルーが良いかな?と思い、ブルーも含め何枚か実際にここに敷いてみたところ、このグリーンがぴったりでした」。

吉田邸の アートギャッベライフ

実際に自宅リビングに置いて決められたのも良かった

「娘はアートギャッベの上では必ず靴下を脱ぐんです。ここに布団を敷いて一緒に寝ることもあるのですが、朝起きるとギャッベの上に寝ていて(笑)」。訪れた住宅メーカーのモデルハウスに敷いてあり、肌触りが良いなと思ったのが最初のアートギャッベ体験だったとか。ポー・デコールさんにソファを見に行く度に、アートギャッベが気に入り購入を決意。最終的に気に入ったものを自宅に数枚持ち込み、見比べて選べたのも良かったそう。リビングの壁には、「ショップで見つけ、即決しました」というアートとして飾られたギャッベも。他にも和室に玄関、ミニギャッベと今ではなんと6枚ものアートギャッベを愛用中。

ここからブームが始まりました

1999年のオープン以来、全国の提携工場が製造する健康や環境に配慮した家具を販売。店内の9割の家具が、安心・安全を考えたF☆☆☆☆基準を満たす塗料、推銷剤で作られたものだから、経年変化を楽しみ、長く愛せる上質なものにこだわり、家具やアートギャッベを提供するショップです。

ポー・デコール
新潟県新潟市秋葉区新町4462-1
☎0250-22-0195
10:00~19:00 水曜休(祝日除く)
<http://www.lohasdesk.com/bd-n/>

「新潟にはアートギャッベを愛用する素敵なお宅がたくさんありますよ」と聞き、取材に向かうことに。訪ねた3件のVERY世代のお宅は、どこも素敵にアートギャッベを使いこなしていらっしやいました。印象に残ったのは皆さんが口々に「以前使っていた安物のラグは、子供たちが汚し、すぐに傷んでしまったり結局捨てることに。でもこのアートギャッベなら汚れ難いし、たとえシミが出来てもそれが味となって、何十年と使い続けられる。子供たちにも受け継いでいけるので、少し高価だけど大切に使用していきたい」というようなお話をされていたこと。1枚買っただけの温かさ、肌触りの良さを実感し、続けて何枚も買ったという方もいて、その魅力を思い知らされました。3件とも、お子さん達がアートギャッベの上で寝るといふ話からも、その心地良さが窺い知れます。新潟発アートギャッベのある、心豊かな暮らしを紹介しましょう。



可愛らしいパッチワークのような模様はひと目惚れをし、キッチン用に選んだアートギャッベ。「程良く剛毛を含む毛は撥水性もあるので、キッチンでも使えます」。



玄関には生命の木と窓が猫かいたものを。「玄関には明るい色をと緑を選ば、幸せを呼び込む窓の柄も気に入りました」。

本間邸の アートギャッベライフ

使って実感! あまりの良さに2週間後に買い足しました

「2年前、家を新築した際に、ソファを買い替えようとポー・デコールさんを訪れたのがアートギャッベとの出会い。1枚1枚丁寧に手織りで作られ、すべて1点ものと同じ、「すごい!」と感激しました。震災後のチャリティイベントの機会にリビング用とキッチン用を思い切って購入。あまりの良さに、2週間後に玄関用と椅子に置くミニギャッベを買いに行ったほどです(笑)。ギャッベを生かしたかったので、ソファ前に置いていたテーブルも外してしまいました。ここでダンスの練習をしたり、夏はタオルケットを持ってきて寝たり、勉強する時は椅子にミニギャッベを敷いてと、娘たちも大のお気に入りです」

茶の濃淡は染色をしていない天然の年の毛の色だけで表現。「夫も娘たちもこの自然な色合いがいい!」と、まさに運り合ってしまった感じがします。ソファ前テーブルは外し、座ったり寝たりが楽になりました。アートギャッベを愛用